

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム風

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護福祉士、介護支援専門員といった有資格者が少なく、認知症実践者研修修了者も2名と認知症ケアについての専門的な研修を受けたスタッフが少ない。それゆえに認知症の周辺症状が顕著に見られた場合での対応にばらつきがある。	専門的知識を有した者の育成と資格取得の促進	認知症実践者研修の受講1~2名 介護福祉士の資格取得支援 新しく導入したe-ラーニングの活用によるスキルアップ	12ヶ月
2	4	条例下の取組みである運営推進会議を书面開催で代替するにあたり、適正実施とするには不十分である。	条例下の取組みである運営推進会議を书面開催で代替するにあたり、適正実地につなげる。また成果としてメンバーとの双方向の情報交換を実現させる。	運営推進会議のメンバーに2ヶ月の活動内容を送るとき、意見をもらえるよう「感想・意見シート」を同封する。	2ヶ月
3	45	浴剤を3種類使用しているが、職員が決めている。	利用者が主役として「確認する」ということを増やしていく。そのためにも利用者が選択できる機会を職員が意識する。	浴剤を3種類の中から、利用者本人に選んでもらうほか、他にも「選択機会」をつくれないう会議で検討する。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。